

まめなかの

発行責任者
隠岐広域連合立
隠岐病院長
隠岐の島町城北町



年頭にあたって



院長 小出博己

いよいよ新しい年がスタートしました。皆様方、年の初めに当たりそれぞれ想いを新たにされたことと思います。

平成24年5月1日に新病院が開院し、ハード面は整備が進みましたが、島民の皆様は安心・安全の医療を提供できるためには、医師や看護師をはじめ医療関連職のマンパワーの安定した確保が重要な課題であります。隠岐の島町の医師数は全国平均の2/3程度と人口に比して少なく、ま

た、診療科による医師の偏在のため常勤医師不在の診療科では診療日時が限られ、さらに同規模の病院と比較して外来患者数が1日450名以上と、約2倍程度多く、診察待ち時間が長い、診察時間が十分取れないなど、受診される皆様にご不便をおかけしているところがあります。



今後とも、ご意見とともにご支援いただきまますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

少子高齢化社会に向けて限りある資源を有効に活用すべく、行政および島民の皆様とともに地域全体で医療や介護を考えていかなければならない状況となつてきております。
当院では、引き続き医師をはじめ、看護師・保健師・助産師や、医療技術職の確保に努力してまいります。島民の皆様方のご理解・ご協力が必須と考えております。

インフルエンザ感染予防についてのお願い

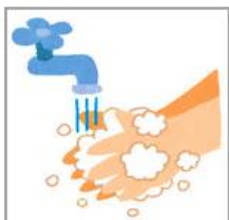


鼻と口の両方も確実に覆う

インフルエンザが流行していません。感染拡大防止のため、皆様のご理解とご協力をお願いします。

①インフルエンザ様症状（発熱は37℃以上）で当院を受診される際は、必ず事前に電話をして頂き、指示に従って受診をお願いします。

- ②全ての来院者は、玄関で手指消毒してから入館願います。（備え付けの消毒薬をよく擦り込んでください）
- ③来院されたら、マスク着用のおうえ、受付をお願いします。
- ④入院患者への面会はお控え下さい。



インフルエンザ シーズンの到来!

— 風邪を予防しよう! —



風邪の原因の多くはウイルス（目には見えない生き物）です。しかし、風邪の症状（くしゃみ、鼻水、発熱、喉の痛み）などは、そのウイルスが身体に入ってきた時に私たちの身体がそれを排除しようとする防御反応。同じウイルスに感染しても、鼻水だけで済む人もいれば、肺炎で高熱がでる人もいるのは、この排除しようとする力（免疫力）が異なるためです。すなわち風邪の予防とは、身体に進入しようとするウイルスを減らす工夫ということになります。

の基本的には、風邪を引いている人に近づかない、つまり人混みを避けることです。仕事をして

いる大人や、学生の方は、現実には不可能ですが、免疫力の低い高齢の方や、乳幼児にはこれだけでも随分違ってきます。どうしても人混みに出る場合はマスクをつける回数割のウイルスの侵入を減らすことが可能となり、喉や鼻を乾燥から守って粘膜の働きを助ける効果があります。

それでは、付着してしまっただけのウイルスをうがいや手洗いで洗い流すことは有効でしょうか。先ず、うがいは、うがいですが、インフルエンザウイルスの場合、鼻



や喉に付着すると、一時間もしないうちに進入するため、何時間でも人混みに居た後のうがいは間に合わないこともあるようです。

それでも全く効果が無い訳ではなく、しないよりは良いと言われています。また、帰宅後の手洗いは、衣服などから手を介し運ばれるウイルスを減らすのに意外と効果があるとされています。お家に高齢の方や、赤ちゃんの居るご家庭では特に有効となります。

また、温度や湿度を上げること、空気中に浮遊したり、衣服などに付着して進入の機会を狙っているウイルスを減らすことができます。冬場に流行するウイルスはもとも高温、高湿度では長く生



存できないためだと言われています。一般に、エアコンやファンヒーターで室温は上げられていますが、湿度は割と低く乾燥しています。加湿器を利用したり、やかんでお湯を沸かし、洗濯物を干しておくのも良いでしょう。

その他にも色々な風邪予防があると思いますが、最後には自身の抵抗力がカギとなります。ウイルスを増殖させず、軽い症状ですむようにするために、普段からは、普段からバランスの良い食事、十分な睡眠で自身の免疫力を高めておくことも忘れないでください。



電子カルテシステムの更新に伴う お知らせとお願い



当院では医療サービスの向上と、より安全な医療の提供を目指し、電子カルテシステムの更新を行います。対応職員は十分な操作研修やリハーサルを行っておりますが、更新作業期間中および、外来運用開始日には、各種診療に時間を要することが想定されるなど、患者様にはご迷惑をお掛けすることがあります。システムの更新は当院の診療に必要な作業ですので、ご理解とご協力をお願いいたします。

【更新作業期間】

平成30年2月9日（金）20時～

平成30年2月12日（月）8時30まで

【外来運用開始日】

平成30年2月13日（火）

2月13日（火）以降外来診療については、数日の間、診察時間や待ち時間が少々長くなることが予想されます。また、診察中に医療者以外の職員が出入りする可能性があります。また、電子カルテシステムの不具合を防ぐために万全の態勢を整えておりますが、万が一操作の問題や、システム上の不具合が発生した際には、患者様への配慮を徹底させながら、病院職員以外の職員（電子カルテシステム事業者等）が、診察室内に立ち入ることもございます。その際には、ご理解とご協力をお願いいたします。



質の高い看護の提供を目指して!!



認定看護師とは、水準の高い看護を実践できると認められた看護師で、「認定看護分野」として日本看護協会が認定しています。

看護師として5年以上の実践経験を持ち、日本看護協会が定める615時間以上の認定看護師教育を修め、認定看護師認定審査に合格することで取得できる資格です。審査合格後は認定看護師としての活動と自己研鑽の実績を積み、5年ごとに資格を更新しています。

当院には現在3名の認定看護師がいます。「皮膚・排泄ケア分野」、「感染管理分野」、「緩和ケア分野」で、患者様・家族の方により良い看護を提供できるよう専門性を発揮しながら認定看護師の3つの役割「実践」「指導」「相談」を果たして、看護の質の向上に努めています。次号ではこの3名の認定看護師を紹介する予定ですのでお楽しみに!!(^_^)



がん予防住民向け講演会

大腸がんにならないために 検診のすべてをお伝えします。



【日 時】 平成30年2月18日（日）
13時30分～15時00分
（受付13時～）

【場 所】 サンテラス2階サンホール

プログラム

【1部】

演題「大腸がんをもっとしろう！」
～この島から大腸がんで
亡くなる人をなくしたい～

講師：隠岐広域連立立隠岐病院

副診療部長・内科部長・消化器専門医 宇野吾一
内科医長 高橋佑典



最新機器を背景に!!宇野医師

【2部】

演題「お任せください！大腸内視鏡検査の前処置について」

講師：隠岐広域連立立隠岐病院

外来看護科内視鏡看護師 八幡弥生 福浦祐子

必見!!
最新情報あり!!

【その他】

各種展示、下剤の試飲、大腸がん検診
受付も実施します。



カメラ検査中の高橋医師

問い合わせ先

隠岐広域連立立隠岐病院 地域連携室

TEL 2-1356

主催 隠岐広域連立立隠岐病院 後援 隠岐の島町